



フトゥーロ通信

2019年度1号

NPOフトゥーロ LD発達相談センターかながわ

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町 803-2

第一サンワードビル2F

<センター> tel. 045-989-3501

fax. 045-989-3502

<ホームページ> <http://www.futuro.or.jp>

春休みが終わって新学期が始まったと思ったら、あっという間に10日という超大型連休があって、どのお子さんもテンポがつかめずに生活なさっているのではないかと思います。小学校によっては、連休明けから運動会の練習が始まっているようで、1年生にとっては「学校って???'という状態かもしれません。とにかく、都内ではインフルエンザで学級閉鎖になったところもある様です。体調を崩さないように食べられる時にはしっかり食べて、さっと寝かせてしまうのが一番かもしれません。簡単ではないですけど……。



便利さ と 不便さ

フトゥーロ 所長 安住ゆう子

今巷には「便利グッズ」が溢れています。へーなるほど、と思わせるものから、そこまでやらなくても……と言うものまで様々です。『便利とは都合よく重宝なこと、うまく役立つこと』と、意味の確認のため今使ったスマホもまさに「便利グッズ」の代表選手でしょう。

発達特性の大きい方たちにとっても便利グッズを使って日々を過ごしやすくすることはとても重要なことです。これを環境調整とか、法的には合理的配慮と言ったりします。苦手なやり方で多大な時間をかけ疲労困ぱいしてしまうのは辛いことです。便利なものや、やり方を見つけて、習得する楽しさや学ぶ喜びを味わいたいものです。

しかし、すべてを「便利グッズ」に頼ったほうがいいのか、というのも考え物です。「便利」を「らくできること」に置き換えないように気をつけたいと思います。早く簡単にできることに慣れてしまうと、ちょっとした滞りや失敗にイライラししまいます。便

利＝らくちん、かんたん＝早くすぐにできる、という図式を作ってしまうと、早くすぐにできない＝イライラ＝めんどうくさい＝不便＝やーめた! の図式もできてしまうでしょう。一方、不便が人に益をもたらすという『不便益』という考え方があるそうです。不便だとああしよう、こうしよう時間をかけて考え、失敗してもまた工夫するチャンスがあります。不便益の例として「遠足のお菓子は300円まで」が紹介されていました。300円までしか買えない不便さがあるから時間をかけて思い悩み、その時の最上の選択をし、それが大人になっても暖かな思い出として残っているというのです。

なには便利の恩恵を受け、なには不便益を得ることにするのか、よくよく考えてみたいものです。一度便利に慣れてしまったことを不便に変えることは難しいですものね。



高学年グループの指導について

スタッフ 芳賀 亮一

ある年度に行った高学年グループの内容を紹介し(月に2回、1回90分)。このグループでも、フットーロの他の小学生グループと同じように、コミュニケーションスキル、スタディスキル、ソーシャルスキルの習得支援を目標に、1年間活動しました。

* 参加したお子さんのタイプ

6人のグループでしたが、タイプは様々でした。積極的に誰かと関わることが基本的には好きであるものの、しつこくなってしまったり、相手の気持ちを考えるのが苦手なタイプのお子さん達もいれば、どんな課題もじっくり考えて取り組めるものの、受け身的で、自分の意見や気持ちを表現するのが苦手なタイプのお子さん達もいました。指導内容については、フットーロで作成した「自立のためのチェックリスト」をもとに作成した下記のチェックリストから検討しました。

自己理解	1	うまくできたこと、簡単だったことを言う。
	2	うまくできなかったこと、むずかしかったことを言う。
コミュニケーション	3	その場所にあった声の大きさと話せる。
	4	相手が聞こえているか意識して話すことができる。
	5	話しかけられたら返事をするができる。
	6	自分が話したくても、相手の話が終わるのを待てる。
	7	分からないとき、自分から質問できる。
	8	自分がしたいことを他の人に言える。
社会的行動	9	人の仕事や役割を取らない。
	10	作業している時に、声をかけあう。
	11	時間を意識して行動する。
	12	片付けてから次のことをする。
	13	意見を言うときに要点をまとめて言うことができる。
	14	相手や場面によって、口調や言葉づかいを変える。

お子さん達自身にも、年度に何回かチェックリストを自分でつけてもらい、自分の変化が感じられるよう

にしました。積極的なタイプのお子さん達にはリストの6、9、13、14、などを、受け身のタイプのお子さんには3～8、や13、を意識できるようにスタッフからも声かけしました。

* 作業を中心にして

この年度は2～3人で行う作業を一年間通して行いました。どの作業でも7、や14、が練習できるよう、「先生のチェックを受ける」という工程を必ず入れるようにしました。「～君、どうしたの?」と大人から手をさしのべてもらわなくても、自分から周囲に働きかける練習です。また、子ども同士お互いに声をかけ合い、手伝いあわなければきれいに仕上がらないような工程をどの作業にも入れるようにしました。「誰からやろうか」「そこ押さえてて」などたくさんの会話を自然に交わすことができました。完成したらみんなで遊べるということも動機になってみんな熱心に取り組みました。

年度の最後には「ジャンボだるま落とし」を作りました。完成までの工程を3つに分け、工程ごとにチーフ役を交代しました。チーフ役は他のメンバーに仕事を割り振る等、仕事を取りまとめます。学校ではあまり経験しないような役割に戸惑う子もいますが、チーフ役のメンバーがたとえ段取りよくできなくても、皆が協力してくれました。

* まとめ

指導開始当初は、人任せな態度が目立った小6のAさんは、もともと工作などは好きでしたが共同作業には強い苦手意識がありました。それでも一年間の活動を経て、他の子の様子を見て動こうとすることが増え、また役割がはっきりしていれば自分から他の人に話しかけることもできるようになりました。フットーロの活動は少人数で大人の見守りがある活動です。引き続き様々な練習が必要なAさんですが、学校での生活も自信をもって送れるようになって欲しいといつも願いながらスタッフも関わりました。



三角軸鉛筆

今回ご紹介するのは三角軸鉛筆です。鉛筆は六角形のものを目にすることが多いですが、三角軸鉛筆は太い三角形であることが特徴です。

三角形がなぜ良いかというと、鉛筆を握る時は親指と人差し指、中指の3本を使います。三角形であれば自然とこれらの指が側面に触れるため握りやすくなるからです。鉛筆を使いはじめた年頃のお子さんにはもちろん、鉛筆の持ち方が十分でないお子さん、不器用さがあり丁寧に書くことに苦手さがあるお子さんにも効果が期待できます。

三角軸鉛筆を選ぶ際は、様々なメーカーが

製造していて若干の違いがあります。長さや太さ、濃さを基準に考えるのが良いと思います。

実際に使って合ったものを選ぶ必要がありますが、成長するにつれて変えていくことも大切です。濃さについては、筆圧が低いお子さんには濃いもの(6B)を、筆圧が高いお子さんには薄いもの(2B)を選びます。

低年齢のお子さん向きのものが多いですが、大人が使っても違和感がないデザインのもの、グリップ付きのものなどもあります。

(スタッフ 鈴木弦)



くもん、ヨーイ、三菱、北星など 各種メーカーから発売されています。画材屋さんでも特殊な鉛筆の取り扱いがあります。

～ 映画・ドラマ・本をご紹介 ♪13～

★ ちいさな英雄

一カニとタマゴと透明人間 ★

今回、私がお勧めするのは、2018年の夏に公開された映画「ちいさな英雄 一カニとタマゴと透明人間」です。15分程度の短編アニメーション『カニーニとカニーノ』『サムライエッグ』『透明人間』の3作品で構成されています。

『カニーニとカニーノ』は、擬人化されたカニの家族の物語です。水辺の情景が美しく、水中の音がなんとも心地よく目や耳の感覚が澄んでいくようでした。セリフは家族の名前を呼び合うくらいしかないのですが、その分、声や表情から伝わる気持ちを読み取るところがおもしろい作品です。

『サムライエッグ』は、アレルギーのある少年とそのお母さんの物語です。日々、心配がありながらもサバサバとした頼もしいお母さんが、少年のアレ

ルギー克服を自然体で応援する姿がカッコイイ作品でした。

『透明人間』は、姿が見えず存在がわかってもらえないことに苦悩している主人公が登場します。どうしようもない思い、孤独感から挫折しそうになりますが、自分の「良心」や「誠実さ」に突き動かされ行動します。そうした心が最後には透明人間である自身の存在を救うことにつながっているように感じられ、感銘を受けました。

どの作品も恐れや不安を乗り越えようと決意を新たに、主人公が一步前進します。そのような姿に後押しされる映画でした。

(スタッフ 藤村 愛)



スタジオジブリ出身の米林宏昌監督によるスタジオポノックが、新たに送り出す短編劇場。DVD、Blu-ray、PrimeVideoなどご覧いただけます。

OB 保護者同窓会 高校生になったA君とお母さん

前回の号で以前グループ指導に来てくれていたお子さんのお母さま方の同窓会の様子と主に支援学校3年生のO君の話をお伝えしました。今回は、A君(県立高校1年生)の近況をお伝えします。

実は、パソコン部に魅力を感じて入った高校ではありましたが、今一つ学校生活がしっくりきていないようで、お母さまもどうしたものかと悩んでいました。小、中と地元の公立に通い、すべてを他の人と遜色なく行うのは難しかった様ですが、ユニークな存在として受け入れられ、中学校では女子生徒数名からなるA君ファンクラブまでできていたとのこと。居心地の良い居場所もあったようですが、知った人が一人もいない、電車に乗って通う高校を選んだA君はまだ友達と呼べる人がいないそうです。パソコン部には気の合う人がいるかもしれないと言ってはみるものの、今は行く気なしの状態。O君やT君のお母さん達からは「充電の時期かもね?でも、面白いことを思いつくA君だし、発信力はあるから、思い切って一人旅なんてさせてみたらどうかな?」とアドバイスをもらっていました。「それよりも部屋が汚くて……」とさらに悩みが具体化され、ごみ箱を沢山置いてみたら?落ちているお金は親がもらっちゃうのはどう?とみんなで対策を練るも決め手になる打開策がなく、たまに母が掃除をする、ことで清潔を保とうということになりました。部屋が汚いことからA君のお母さんの「片づけを含め家事が苦手な自分がどうやって克服したか」の話となり、みんなで興味深く聞き入ってしまいました。A君のお母さんにとってスケジュール表は効果がなかったそうです。どうやったかと言うと、毎日の家事を一つにつき1枚のカードに書き(例えば、「Yシャツアイロン」「風呂掃除」「食器洗い」など)、そのカードをまずテーブルに広げます。そして一つ家事が片づくともカードを取って、クリップでとめて保管する。片付いてい

く様が目に見えて分かり、最後にすべてカードがなくなることで達成感が得られる、とのことでした。「この方法で今のところ順調」とピースサインをしていました。「うちの子にもこの方法取り入れようかしら!」とお母さん。一同「それは良いかも!」と後押しした次第です。

A君は学校でやや苦戦中ですが、お母さんは役員を引き受け、ご自身が学校に足を運ぶようにしているとのこと。「人と関わるのはあまり得意な方じゃないけど、学校での様子が聞けるし、同じクラスの息子に親切にしてくれる女の子のお母さんとも親しくなって、そのお子さんを通じて息子の頑張っている話も聞けるから良かった。私は色々とおっちょこちよいのところがあるけど、最初に〇〇苦手です。でも、△△は得意(美的センスがありイラストが得意な方です)ですって、言うておくことで自分が楽になるし、助けてもらえることもできて良かった」と話してくれました。A君を育てることを通じてお母さんも成長している姿に一同拍手。O君のお母さんも、T君のお母さんも「PTA役員をやるのは当然。やれて当然」というタイプの方ですが、緊張しながら役員に手を挙げたA君のお母さんを労っていました。彼女は先輩母たちに「助けてあげなくっちゃ」と思ってもらえるかわいらしさもっています。A君のユニークさ発信力の素晴らしさ、物おじしなところ、など沢山良いところ見つけてもらって、少し自信を失いかけていたA君のお母さんの顔が明るくなりました。

帰りがけ「子どもの特性は〜で」と一から説明しなくてもわかってもらえる関係って有り難いです、としみじみ言っていました。次回はT君の巻です。お楽しみに。

(聞き手/スタッフ 三島 節子)

実行機能力 ステップアップ ~その2~

スタッフ 三島節子

前回紹介した整理が苦手なM君。早速、家族に手伝ってもらい「すばやく準備するゲーム」に挑戦しました。家族にM君が準備する物を6種類書いておいてもらいます。「よ～いスタート」の掛け声で、M君は6種類のものを確認して、自分の部屋から集めて家族の前に置きます。すべて置かれた時点で終了し、そろえた物と時間を確認します。

M君のお題は「学校用筆箱・とがった鉛筆3本・赤鉛筆1本・消しゴム・算数の教科書・社会の資料集」でした。結果は……筆箱はありましたが、ちびた鉛筆1本・赤鉛筆は無し・ちびた消しゴム4個・算数の教科書・社会の資料集は見つからず……となり、6点中2点です！8分かかってしまいました。あ～～あ、です。この後、10分間の整理タイムを

設け、家族と一緒に片づけました。

教科ごとに教科書・ノート・ファイル・資料集をまとめ本箱に入れ直し、鉛筆削りを決まった位置に置きました。おやつを食べた後リベンジした結果は6点中6点！タイムも2分と縮まりました。ガッツポーズのM君の感想は「種類で分けたこと、よく使うものは見える場所に置いたことが良かった」でした。

詳しくは『**実行機能力**ワークシート』を待合室に拡大して貼っておきますので、お家でも挑戦してみてください！挑戦した人は感想を担当の先生までどしどしお寄せください！



おねがい

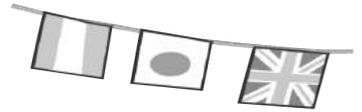
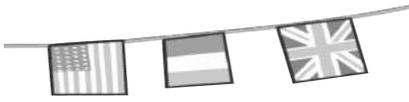
● 避難場所の確認のお願い

フトゥーロでは、大きな地震が発生した場合の対応を以下の様に定めています。

- ① 建物にとどまることが危険と判断した場合、徒歩3～4分の十日市場小学校校庭へ避難します。フトゥーロの前道路にいない場合は十日市場小学校へのお迎えをお願いします。
- ② 一人で通っているお子さんについては、非常事態の際の対応をご家族で必ずご確認下さい。また、緊急連絡先と対応方法をカバンに入れておく(必ず、入れていることをお子さんに伝えて下さい)などの対応もお願いします。
例：「迎えに行くまで絶対に待っている」など

フトゥーロ から十日市場小学校までの地図です。お子さんの指導の間に、一度、歩いてみて下さい。





スタッフが見つけた！

★子どもたちのキラリ～ン★

やっぱり本番はステキ！

昨年度のフトゥーロフェスティバル。小学生グループの男の子達とマッサージ屋さんをすることになりました。当日に向けて、お客さんとマッサージ師に役割を分け、交代しながら練習を始めました。

肩たたきは……リズムよく、たたく位置に気を付けて。背中やふくらはぎは……位置をずらしながら体重を乗せていく。

そんなコツをつかめるように、お互いに感想を伝え合って練習していきました。マッサージは強すぎても弱すぎてもいけないので、力を加減する難しさを感じました。また、お客さんにとって快適に感じる位置を探る大変さも実感しました。

相手のことを思い、相手に意識を向ける

ことに練習を通して少しずつ気づいたようです。

一方、お客さん役も真っ直ぐ座っていることに苦労している子、体に触られることに抵抗がある子など、課題はいくつかありました。お互いに「そうだよな」など、共感の声掛けをし合い、乗り越えていました。

さて、フェスティバル当日。お子さん達は、はりきって大きな声で呼び込みをし、自分でタイマーをセット、(本物の)お客さんに話しかけながらのマッサージ……大活躍！！

練習を重ねてコツをつかみ、出来る！という自信をもてたこと、多くのお客さんに来てもらい、しっかりやるうという意志をもったこと。本番では、一層、子ども達がキラリ～ンと輝いていました。

(スタッフ 小山純子)





お知らせ



● サマースクールのご案内 ※より詳しい内容はパンフレットをご覧ください※

今年度も夏休み期間中に様々なサマースクールを行います。参加を検討される方にはパンフレットをお渡ししますので担当者にお声かけください。また、担当者と相談して参加を検討されたい方はその旨お申し伝えてください。

① 『アセスメントパッケージ』(8/6～8 または 8/19～21)：読み書きや WISC-IVなどの各種検査を組み合わせて実施します。より詳しくお子さんの特性を知り、学習指導や支援に役立てられます。

★参加費 1日コース ¥17,000- 2日コース ¥30,000-

② 『学習サマー』(8/19～21, 9:30～12:30 の3日間)：ご希望の学習を行い、特性に応じた習得の仕方を意識した学習を行います。また昼食を挟んで振り返りやまとめを行います。

★参加費 ¥21,000-(昼食代を含む)

③ 『スタディー & ソーシャルスキルサマー』(8/6～8, 9:30～12:30の3日間)：集団生活に必要なスタディスキルを前半で学習し、後半は友達と一緒にゲームや遊びを通してソーシャルスキルに取り組みます。お昼は自分で計画して購入します。 ★参加費 ¥20,000-(昼食代別)

フトゥーロ通信 2019年度1号

発行日 2019年5月30日

発行所 NPO フトゥーロ LD 発達相談センターかながわ

〒226-0025 横浜市緑区十日市場町 803-2 第一サンワードビル 2F

Tel. 045-989-3501 Fax. 045-989-3502 ホームページ <http://www.futuro.or.jp>